

全国出版協会 70年史

[1949～2019]



刊行にあたって

全協の名で呼び習わされてきた全国出版協会が活動を開始してから70年の歳月が経ちました。波乱に満ちたこの70年間を、このたび初の年史としてまとめることができましたので、ここにお届けいたします。

戦後の混乱期、日本自由出版協会から全協の誕生へと展開していくいきさつは、今の時代からは想像もつかぬ波乱の連続でした。そしてさらに雑誌協会や書籍協会の母体となっていく過程からは、全協が日本の出版界にあって果たした役割の大きさをうかがい知ることができます。出版界の躍進と転機を、読書推進と調査研究を二つの柱としてひたすら追求めた活動のありさまを振り返るにつけても、この長い年月が関係各位の多大のご支援の上に築かれてきたものであることに対し改めて心より感謝申し上げます。

本書で多くの紙数を割いたことにも表れているとおり、特筆すべきは出版科学研究所（出科研）の果たした役割です。経営基盤も定まらぬ混乱期にあって、出版業界における調査研究の重要性に着目した先人の鋭い問題意識には敬服のほかありません。単なる調査研究にとどまらず「科学的」であろうとしたその思いは、現在においても大いに学ぶべきものと思量いたします。本書においては、全協とりわけ出科研のユニークな活動を振り返る中で、紙媒体にとどまらず電子出版の内実やその出版規模の追究など独自の調査に取り組んだ経緯にも詳しく言及しました。

率直に申して、年史をこれまで一度も刊行することがなかったためもあり、資料の発掘や確認などの作業は容易なことではありませんでした。このため本文執筆や資料整理には多大な労力と知恵を必要としましたが、全協事務局の新旧スタッフの熱意と努力の結晶として、70年史をここに完成することができたのは喜ばしい限りです。この先、皆さまのお手元において長くお役に立つことができれば、これに勝る喜びはありません。

文字活字離れという流れに総力を挙げて立ち向かう出版界にあって、読書推進や実態調査研究という全協の果たすべき役割はさらに多様化し、重要性を増していくのではないかと推察いたします。本書が、出版界のさらなる伸展と、次なる全協百周年への貴重な足掛かりとなることを祈念して、発刊のご挨拶といたします。

2020年5月

公益社団法人 全国出版協会 理事長
浅野 純次

目次 全国出版協会 70年史

刊行にあたって 理事長 浅野純次	1
第1章 全国出版協会の歴史	3
1-1 全協誕生から雑協・書協の誕生（昭和24年～昭和44年）	4
1-2 全国出版協会・出版科学研究所として再出発（昭和44年～平成18年）	8
1-3 文字・活字文化の振興、読書推進に活動を広げる（平成18年～令和元年）	9
1-4 全国出版協会の沿革	12
第2章 出版科学研究所	17
2-1 出版科学研究所の歴史	18
①東販・出版科学研究所（昭和31年～昭和44年）	18
②全協・出版科学研究所（昭和44年～令和元年）	21
統計データオンリーから解説強化の時代へ（昭和44年～昭和62年）	21
業界の最盛期と下降期の動向をレポートする（昭和63年～平成21年）	28
危機に直面する出版流通、紙と電子の共存（平成22年～令和元年）	33
2-2 出版科学研究所の出版統計について	38
2-3 レファレンス活動	39
2-4 出版セミナー、電子フォーラム開催一覧	40
2-5 ベストセラー、創刊誌と出版業界の主な出来事	44
第3章 出版科学研究所のデータからみる出版業界	53
推定販売金額 54, 発行・販売部数 56, 出版点数 58, 返品率 60, 平均価格 62, 文庫本 64, 児童書 66, 雑誌 創刊・休刊点数 68, 女性誌 70, ムック 72, コミック市場 74, 電子出版 78	
第4章 「高橋松之助記念顕彰事業」と「朝の読書全国縦断交流会」	81
4-1 「朝の読書大賞」「文字・活字文化推進大賞」実施要項	82
4-2 歴代受賞者一覧	83
4-3 選考委員・選考顧問 財団役員一覧など	84
4-4 表彰式風景	85
4-5 「朝の読書全国縦断交流会」開催一覧	86
4-6 「朝の読書交流会」プログラム	87
第5章 資料編	89
5-1 設立当初の役員・会員一覧	90
5-2 全国出版協会 役員名簿	92
5-3 全国出版協会 会員名簿	93
5-4 歴代役員一覧（昭和44年～）	94
5-5 設立当初の定款	98
5-6 現在の定款	99
【コラム】 全協発足時の出版社と一八会 上瀧博正	14
第23回日本出版学会賞『出版指標・年報』	52
出版科学研究所の思い出 佐々木利春	80
「朝の読書」の原点と現在 大塚笑子	88